

Y I A 会員だより 2020年7月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第187号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【7月以降の活動予定他】 コロナウィルス感染拡大防止を図ったうえで、8月～9月頃に国際理解講座、書道ワークショップの開催を準備しています。詳細が決まり次第ご案内します。

◆英会話川島教室 マークさんからのメッセージ

マークさんによる川島会話教室の授業は7月15日が最終となります。マークさんよりお別れのメッセージを頂きました。

Thank you Yoshinogawa Mark Silverio Tagliamonte

I applied to come to teach in Japan in October of 2017. Seven months later, on the afternoon of May 18, 2018, I received an email. The email read, "Dear Mark, We can now inform you of your placement assignment: Tokushima-ken, Yoshinogawa-shi." Tokushima-ken?



What is that?

Where is that?

On August 8, 2018, I was flown to Tokushima. I saw printed on

the airport wall an enormous black-and-white picture of two women holding a puppet. Written between the women was the phrase, "伝統を守る". 伝統? Will I be accepted? Am I going to interfere with tradition? All of my nerves quickly abated as I saw a group of people holding up a sign for me. This was the beginning of months of caring support from the community.

My predecessor John and supervisor Chihiro Yamamoto were the first to impact me. They taught me everything I needed to know and offered me help. My fellow ALTs, including Michele, Nou, Erica, Tammy, and Viet all made me feel so welcome. Then, I met Akiko Nakayama of Awa at the Himawari in Kawashima. She helped me feel included in the community, and most importantly, showed me how to have fun. I see her as a gifted liaison

between cultures, and I credit her with giving me the tools I needed to thrive here. Tomoko Hashikawa of Kawashima, along with her husband, showed me the beauty of western Tokushima. 安部正美 of YIA showed me the beauty of southern Tokushima. Mrs. Inui of Kamojima taught me the shamisen and showed me incredible hospitality every week for many months.



Everyone at

YIA,
including

Mrs.
Mihara,
Mrs. Iguchi,
and Mrs.

Ichihara,

helped and supported me. To everyone at the Yoshinogawa Board of Education, including 山本さん、江本さん、and エリカ先生, I want to say thank you for your unwavering support. You've given me the opportunity to live my life here comfortably, and I will always be indebted to you for that. I've experienced teaching at Kawashima Elementary School, Kawashima Junior High School, and Chiejima Elementary School. To all of the teachers I have interacted with, I say thank you for making these two years enjoyable and life-changing. To all of the students I have taught, thank you for being so wonderful.

I do not want to leave this town, but there are opportunities waiting for me elsewhere. I will never forget what you all have done for me. And I'll be back. I promise.

◆山川町で7月より日本語教室を開設 宮野悦子

これまで日本語教室は鴨島教室だけでしたが、7月より山川町にも教室を開講することになりました。時間は、毎週日曜の午前10時～11時30分。場所は、山川公民館です。

すでに半年前から教室開校にむけた試行授業を行ってきました。試行授業には毎回、十数名の外国人（技能実習生）が参加してくれています。ベトナム人・中国人で20～30歳代の女性ばかりです。

日本語の「授業」というより「日本語で会話を楽しむ」ことをモットーにしています。ボランティア講師を募集していますので、外国人との交流に興味がある方は是非、お問い合わせください。



◆日本語教室で小さな海外旅行 細谷裕重

日本語教室は外国語で授業をしていると誤解する人が多いです。しかし実際は日本語で授業をしています。テキストを使いますが、話はよく脱線します。

先週の授業ではインドネシア人の女性を担当しました。彼女によると「インドネシアでは小学校から授業でアラビア語を勉強する」そうです。イスラム教のコーランがアラビア語で書かれているからです。

彼女はアラビア語での日常会話はできませんが、文字を書いたり読んだりすることはできるとのことでした。インドネシアについての知識が一つ増えました。

日本語教室では、毎回、新しい発見があります。今は新型コロナの影響で海外旅行はできませんが、日本語教室で毎週、小さな海外旅行の気分を味わっています。



◆徳島大学国際ナショナルオフィス訪問

萩森 健治

6月19日、徳島大学の国際ナショナルオフィスを訪問し、橋本教授と4月に着任された清藤助教に面会しました。同オフィスは、国際交流の拠点として、海外協定校との連携、学生の海外留学や外国人留学生の支援などを行なっています。先生方と多文化共生や外国人に対する日本語教育について1時間半ほど面談しました。

橋本先生は、地域での外国人に対する日本語教育に関心があり、日本語教室に学生を派遣する案や日本語指導の勉強会などの開催を提案されました。また、清藤先生は、地域での外国人と市民との交流、技能実習生の仕事や生活などに関心があり、YIAの日本語教室の視察を要望されました。先生は、早速6月21日に山川日本語教室を訪問され、技能実習生15名が楽しく勉強する様子や、日本語弁論大会に出場する介護職実習生のスピーチ練習を視察されました。

多文化共生の推進や日本語教室の充実を図るため、今後、徳島大学の同オフィスの先生方にご指導いただく機会を作りたいと思っています。

YIA 定例活動 他

◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう！

【鴨島教室】 毎週木曜日 19:00～21:00

【山川教室】 毎週火曜日 19:00～21:00

【川島教室】 毎週水曜日 19:00～21:00

お問い合わせ先：市役所生涯学習課 ☎0883-22-2271

◆日本語教室 日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30～15:30

【山川教室】 毎週日曜日 10:00～11:30

お問い合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653